

(別紙様式)

箱根町立小・中学校統廃合準備委員会検討部会の会議結果概要報告書

平成 19 年 6 月 29 日

部会種類	通学方法検討部会（第 5 回）
開催日時	平成 19 年 6 月 20 日（水） 9 時 00 分～16 時 30 分
開催場所	スクールバス運行予定ルート 他
出席者	代 表：奥村校長 構成員：勝俣（正）、松下、根岸、岡野、岩瀬、中島、勝又 事務局：学校教育課学校統合推進班 木邊主幹、大津主査、関田主査 ＊温泉小学校 高梨校長（午前中のみ）、宮城野小学校 佐宗校長も出席
議題及び検討・調整結果等の概要	議 題 1 スクールバス運行ルート（案）のルート検証 2 （ルート検証後）意見交換 概 要 スクールバス運行ルート（案）について、実際バスに乗車して検証作業を実施後、意見交換を行ったもの。 【今回会議の主な確認、方向性（要旨）】 ●検証結果 各ルートを運行し、乗車場所にて実際に乗降したものであるが、主には次の点が検証できた。 [暫定版ルート] ・強羅駅経由の場合は強羅坂下までの間の道路幅員が必ずしも十分でないが、徐行運転及び無線連絡（路線バス対応）をすることにより通行に特に大きな支障は無かったもの。 ※ルート①「大平台・宮ノ下」について「強羅入口」で U ターン（公衆トイレ駐車場内）し、国道 1 号線を宮ノ下まで下り、国道 138 号線を通り統合小学校へ向かうこととすると、「大平台」及び「宮ノ下観光駐車場」から乗車する児童にとって乗車時間が長くなり負担となってしまうのではないかという意見が出た。 ※ルート②「強羅・ニノ平」のピストンについて、出発時間のローテーションの是非を検討する必要があるのではないかとの話が出ていたが、生活のリズムのこともあり、出発時間は固定した方が望ましいという意見が大勢を占めた。 ・ルート③「箱根」ルートは案のとおりで特に問題は無い。 [プラスαルート] ・ルート①「大平台・宮ノ下」及びルート②「強羅・ニノ平」の変形である「パターン A」であれば、上記※の解消になるのではないかと思われる。

<p>議題及び検討・調整 結果等の概要</p>	<p>【今回会議の主な確認、方向性（要旨）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「大平台・宮ノ下（一部）」及び「強羅」をカバーする「パターン B」であれば、同様に上記※の解消になるのではないかとと思われる。 <p>●主な意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車椅子対応のスクールバスは導入予定の中型バス 3 台中、最低 1 台は欲しい。 ・進入路拡幅に関して、徒歩通学児童と通行バスとの接触等への安全性に配慮する必要がある。 ・強羅・ニノ平地区の出発ローテーションについては生活のリズムのこともあり、出発時間は固定した方が望ましい。 ・通学の際に徒歩することも学習の一つだと思う。 <p>※ 本日（6/20）いただいた意見及びこれに対する町側の考え方（方針）について、これまでの経過も踏まえ事務局で整理する。⇒ これを基に近々次回部会を開催することとした。（開催時期の目安：夏休み前）保護者への報告は次のステップ（部会開催後）とすることとした。</p>
<p>会議資料</p>	<p>「スクールバス運行ルート（案）【暫定版】」、「検討の余地があると思われる運行ルート（プラスα）」</p>